

石見活性化キャンペーン企画

明日へつなぐ

<33>

「鬼師」と呼ばれる瓦ぶきの寺社や民家の棟を飾る「鬼瓦」作りの職人がいる。熟練の技が、和瓦の造形、装飾の美に息づく。

「鬼瓦」と呼ばれる瓦ぶきの寺社や民家の棟を飾る「鬼瓦」作りの職人がいる。熟練の技が、和瓦の造形、装飾の美に息づく。

「鬼師」と呼ばれる瓦ぶきの寺社や民家の棟を飾る「鬼瓦」作りの職人がいる。熟練の技が、和瓦の造形、装飾の美に息づく。

変革

第6部 石州瓦 ④

売れる商品へ挑戦続く

「伝統は大事。だけど、それだけでは廃れていく。これからの伝統をつくり出す新しい発想、挑戦が必要になっていく」



鬼瓦を手掛ける「鬼師」の佐々木利彦さん。変革を受け入れながら伝統の瓦作りを受け継ぐ—江津市二宮町、丸惣

「クリック」 石州瓦の出荷枚数 石州瓦工業組合のまとめで、1987、90年と92、97年にそれぞれ年間2億枚を突破。ピークは94年の2億2800万枚。産地別シェアは三州(愛知県)に次ぐ業

「最初のピーク」のとき、(業界全体で)意識を変えなければならなかった」と振り返る木村さん。02年、ドイツ人デザイナーを起用した独自開発の平板瓦で、石州瓦初のグッドデザイン賞を受賞。反転攻勢ののろしを上げた。売れる瓦作りへ、商品開発は続く。

「最初のピーク」のとき、(業界全体で)意識を変えなければならなかった」と振り返る木村さん。02年、ドイツ人デザイナーを起用した独自開発の平板瓦で、石州瓦初のグッドデザイン賞を受賞。反転攻勢ののろしを上げた。売れる瓦作りへ、商品開発は続く。